

達成度：H23.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## 社会教育課の目標（平成23年度）自己評価書

社会教育課長 濱野 敏幸

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p><b>1 生涯学習の推進（社会教育班）</b></p> <p>近年の社会環境、生活環境の急速な変化に対応するためには、自ら学習を継続させる必要があり、いつでも個人が必要とする学習機会の提供に努めます。また、生涯学習推進のため家庭、学校、地域、各種団体、行政が連携して各種事業に取り組みを行います。</p> <p>（1）生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順天堂大学生涯学習公開講座を4回実施</li>   <li>・生涯学習フェスティバル開催に伴う実行委員会への支援</li>   <li>・生涯学習推進構想（平成24年度から10か年間）及び社会教育計画（平成24年度から5か年間）の策定</li> </ul>	<p>3</p> <p>3</p> <p>5</p>	<p>（1）生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印西市と共同で全4回の公開講座を開催し、親子121名の参加がありました。親子でスポーツを行うことにより、身体への健康は勿論であるが、親子のコミュニケーションが図れ、家庭教育の面からも心の健康が築かれました。</li>   <li>・生涯学習フェスティバル開催に伴う実行委員会への支援を行い、町民の芸術文化に対する関心を高め、より多くの町民が日頃の学習活動の成果を発表する場の提供に協力しました。</li>   <li>・生涯学習計画については、第1期酒々井町社会教育計画（平成24年度から平成28年度）及び上位計画である第1次酒々井町生涯学習推進構想（平成24年度から平成33年度）が策定されました。平成24年度以降は上位計画である「酒々井町総合計画」及びその他の当町が定める諸</li> </ul>



<p>(5) 家庭教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の家庭教育学級の運営（ローズマリー学級7回・なずな学級7回）</li> <li>・学校の家庭教育学級への支援（酒々井小学校・大室台小学校・酒々井中学校）</li> <li>・家庭教育相談員による週2回（木・金）の家庭教育相談の対応</li> <li>・家庭教育学級生を対象に健康福祉課と共催して食育講習会を4回実施</li> </ul> <p>(6) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育セミナーの開催（年6回開催、各種団体と共催）</li> </ul>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>5</p>	<p>域で活かす契機の間として開催し、対象者73名の参加がありました。</p> <p>(5) 家庭教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の家庭教育学級の運営を行いました。（ローズマリー学級、9回延べ99名・なずな学級、15回延べ113名）</li> <li>・学校の家庭教育学級への支援を行いました。（酒々井小学校、7回延べ64名・大室台小学校、7回延べ194名・酒々井中学校、7回延べ99名） 様々な体験や活動をとおして、家庭における教育力の向上を図りました。</li> <li>・週2回家庭教育相談員を配置し、相談体制を整えました。また、家庭教育学級の学級生に対し適切に相談・指導することができました。</li> <li>・①ローズマリー学級、②酒々井中学校、③酒々井小学校、④大室台小学校のそれぞれの家庭教育学級で食育を行い、参加者からは栄養のバランスを考えつつ、会話を楽しむ食卓をつくっていきたいとの声がありました。 (参加人数 ①10名、②16名、③19名、④21名)</li> </ul> <p>(6) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育セミナーを6回開催し延べ747名の参加者が</li> </ul>
--	--	---

<p>・人権教育の啓発活動（ビデオなどの貸し出し）</p> <p>(7) 社会教育団体等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A ・ 婦人会 ・ ユネスコ ・ 文化協会 ・ ボーイスカウトガールスカウト</li> <li>・ B - Net 子どもセンター</li> </ul> <p><b>2 史跡本佐倉城跡調査整備事業（文化財班）</b></p> <p>国史跡本佐倉城跡の活用に向けて保存整備事業の充実を図り、本佐倉城跡の周知、普及に努めます。</p> <p>(1) 整備基本設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度から予定する本格的な復元整備に向けて、計画・工程を見直しつつ、さらに具体的な基本設計書としてまとめる作業を、平成22年度より2ヵ年をかけて実施します。</li> <li>・基本設計の作成にあたり、有識者で組織する調査整備委員会を開催し、その内容検討や方向付けを行います。</li> </ul> <p>(2) 現地見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘調査結果・整備進捗状況等についての現地見学会を「酒々井ふるさとガイドの会」、「佐倉市」と共同で行います。</li> </ul>	<p>ありました。また、人権教育の啓発活動としてビデオなどの貸し出しを行いました。あらゆる人権問題の解消を目指し、人権に対する理解を求め、人権意識の向上を図りました。</p> <p>(7) 社会教育団体等への支援</p> <p><b>3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A、婦人会、ユネスコ、文化協会、ボーイスカウト、ガールスカウト、B - Net 子どもセンターへ支援を行い、各団体の活動を助成しました。</li> </ul> <p>(1) 整備基本設計</p> <p><b>5</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計業務として、昨年度の計画地周辺における交通アクセス、都市計画や開発計画の状況、現地踏査による現在の導線、景観、植生等を踏まえての整備基本的方針に加え、本佐倉城跡調査整備委員会に諮りながら、最終的なゾーンの構成、整備指針、復元施設設計、一般施設設計、管理運営計画、工程計画、概算事業費等について、取りまとめ、史跡本佐倉城跡整備基本設計業務を完了しました。</li> </ul> <p>(2) 現地見学会</p> <p><b>2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒々井町と佐倉市の共催で、3月10日に「酒々井ふるさとガイドの会」、「NPO法人まちづくり支援ネットワーク佐倉」のボランティアガイドの協力により、「本佐倉現地見学会」を予定し、準備を終えましたが、当日は雨天</li> </ul>
---	---

<p>(3) 周知・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、本庁舎玄関において本佐倉城跡や周辺関連遺跡のパネル、出土遺物の展示を行います。</li> </ul> <p><b>3 史跡ウォーキング（文化財班）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史のまち酒々井」をアピールするため、町内に数多く所在する寺社、史跡、名所、旧跡等の貴重な文化財をめぐるウォーキング事業を各種団体と協働で実施し、町内外へ向けて周知するとともに、町の観光振興・交流人口の増加を図ります。</li> </ul> <p><b>4 景観資源基本調査の実施（緊急雇用創出事業・文化財班）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急雇用創出事業を活用し、町内の景観資源基本調査の他、町内出土考古資料の整理、展示替え、ホームページの見直し作業を行います。</li> </ul>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>となり中止となりました。</p> <p>(3) 周知・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館ロビー、役場本庁舎玄関にて本佐倉城跡の発掘調査成果に係る展示を実施し、来庁者への周知が得られました。</li> </ul> <p>・10月23日に本佐倉城跡を中心に周辺関連史跡を解説付団体歩行でめぐる（引率・解説は酒々井ふるさとガイド及び郷土研究会）ウォーキングを実施しました。開催にあたっては各種団体と協力し、地域住民による「おもてなし」や朝市まつりも同時に開催されました。112名の参加を得、本佐倉城跡の周知や「歴史のまち酒々井」としてのアピールが行えました。</p> <p>・平成23年度の景観資源基本調査は、緊急雇用創出事業を活用し、専属の文化財調査員1名、調査補助員2名を雇用して本佐倉城関連の他、これまで発掘された町内出土考古資料や古文書等の資料整理を行いました。また、成果をとりまとめた本佐倉城の植物調査について「本佐倉城とその周辺の植物」としてミニ企画展示を中央公民館ホールにて3月1日から実施し、併せて解説パンフレットの作成（1,000部）と配布を行いました。</p>
---	-------------------------------------	---

<p><b>5 「酒々井学」推進事業（住民に光を注ぐ交付金の活用）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民に自分が住んでいる町がどういう町なのか、どういう歴史があったのかを知って（学んで）もらい、知の振興を図るとともに、併せて地域の活性化を図るための小冊子の作成を行う。</li> <li>※仮称「ふるさと歴史読本」3冊分①歴史②自然③営み（民族）A5判 50ページ程度 各1,500部</li> </ul> <p><b>6 スポーツ・レクリエーションの推進（社会体育班）</b></p> <p>町民のニーズにあったスポーツ・レクリエーションを展開するとともに、健康づくりや仲間づくりの場を提供し、健康増進・体力の維持向上を図ります。</p> <p>(1) スポーツ・レクリエーション祭（10月9日開催予定）</p> <p>各種体育団体等が中心となり、実行委員会を組織し企画・運営を行います。事前に生涯スポーツ教室を行い、参加しやすい体制づくりをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施種目 綱引き、バドミントン、ソフトバレーボール、体力測定、グランドゴルフ、ディスクゴルフ、インディアカ、食育コーナー、昔の遊びコーナーなど</li> </ul> <p>(2) 生涯スポーツの推進</p> <p>体育指導委員が中心となり、誰でも気軽に取り組める軽スポーツの普及を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業 ウォークラリー大会、軽スポーツ大会・教室など</li> </ul> <p>(3) 健康と体力づくりの推進</p> <p>健康づくり推進員が中心となり、ウォーキングを主体とした事業を年4回実施し、健康づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業 町内ウォーキング、砂浜ウォーキング、ハイキングなど</li> </ul>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「住民生活に光を注ぐ交付金」を活用し、酒々井ふるさと歴史読本①酒々井町の地誌、②酒々井町の年中行事、③酒々井町風土記を刊行しました。（各1,500冊製本）</li> <li>町内小中学校、県内市町村、県内図書館等に配布予定です。</li> </ul> <p>(1) スポーツ・レクリエーション祭（10月9日開催）</p> <p>実行委員会を組織し、企画・運営を行い10種目に474名の参加者を、体力づくりや仲間づくりの場を提供しました。</p> <p>(2) 生涯スポーツの推進</p> <p>体育指導委員が、企画・運営を行い、気軽に取り組める軽スポーツの普及を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業 ウォークラリー大会（5月22日132名）</li> <li>軽スポーツ大会・教室（3月18日14名）</li> </ul> <p>(3) 健康と体力づくりの推進</p> <p>健康体力づくり推進員が、企画・運営を行い、体力づくりや仲間づくりの場を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業 歩こう会（4月：震災により中止）</li> </ul>
---	-------------------------------------	--

<p>(4) 競技スポーツの向上</p> <p>体育協会が中心となり、各種スポーツ大会を開催し競技力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業 印旛郡市民大会の開催及び選手派遣、各競技団体による町民大会など</li> </ul> <p>(5) 体育施設の有効活用</p> <p>既存体育施設を効率的かつ有効に活用しながら、スポーツ・レクリエーションに親しむ場の提供を行います。</p> <p>また、町体育館については、震災の影響により使用を見合わせていることから、検討委員会から提言を受け、今後の方針を検討します。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>いすみなぎさウォーキング(5月:震災により中止)          オータムハイキング(12月17日:85名)          スプリングハイキング(3月:雨天中止)</p> <p>(4) 競技スポーツの向上</p> <p>体育協会専門部が、企画・運営を行い、各種スポーツ大会を開催し競技力の向上を図りました。</p> <p>各種大会に延べ2,339名の参加があり、印旛郡市民体育大会に15競技に226名の選手団を派遣し、町の部で優勝することができました。</p> <p>(5) 体育施設の有効活用</p> <p>社会体育施設、学校体育施設の既存施設を効率的に活用し、スポーツ・レクリエーションに親しむ場を提供しました。(利用登録団体:65団体 1,318名)</p> <p>また、町体育館については、震災の影響により使用を見合っており、町体育館検討委員会からの新規建設が望ましいとの提言を受け、総合計画に計上し、平成26年度に建設検討委員会を立ち上げ、平成27年度設計、平成28年度建設を検討しています。</p>
--	-------------------	---